

中学部 第2学年 生活単元学習 学習指導案

日 時：令和4年11月30日（水）10：20～11：10

場 所：小中学部校舎 中学部2・3年2組教室

指導者：後藤ゆり子（T1） 高井哉子（T2）

辻嶋真梨子（T3）

1 単元名 「増田の内蔵 ひ・み・つ 発見!②」

2 目標

- (1) 「増田の内蔵」について、見聞きしたことや調べたことからその特徴や魅力を知り、自分たちの生活と比較しながら情報の整理をする。 知 技
- (2) 得た知識を整理し、人に伝わりやすい表現かを検討し合ったり、他者からの助言を受け入れたりしながら掲示物や映像を作る。 思 判 表
- (3) 地域の方から話を聞いたり、調べたことを身近な人等に紹介したりすることを通して、地域のよさを知り、地域に愛着をもつ。 学 人

3 生徒と単元について

(1) 生徒観

本学年は、男子5名女子3名で構成されており、うち男子1名は訪問教育対象生徒である。友達同士で会話を楽しんだり、教師と簡単な言葉でやりとりしたりすることができる。学習活動に掛かる時間に個人差はあるが、互いに励まし合って最後まで取り組もうとしたり、できるまで待ったりすることもできる。普段は3年生との複式学級で1組と2組に分かれているが、学年で行う学習活動や休み時間などを通して仲間意識が育ってきている。また、訪問対象生徒との関わりも多く、リモートや動画で交流することを楽しみにしている。

「増田の内蔵」は生徒の住む地域にあるが、生活範囲や興味の幅が限定されているため、今年度の学習で初めて触れる生徒や、見たことがあるがその用途や詳細までは知らない生徒が多い。しかし、自分たちの住んでいる地域を深く知ることへの興味関心が高く、宿泊学習で見学した際はガイドの説明を何度も聞き返しながらメモを取り、興味をもって取り組んだ。人と関わりながら学ぶことへの意欲も高い。言葉でのやりとりはできるが、気持ちを整理して伝えることが難しく、自分と相手の考えを比較したり、意見を聞き入れたりすることに課題のある生徒もおり、自分や相手の考えを順番に書き表して整理したり、普段の生活でも相手のことを考える場面を多く設定したりしている。

(2) 単元観

本単元は、横手市の伝統的建造物群保存地区「増田」地域における「増田の内蔵」を調べる学習の2回目である。1学期に行った1回目の単元では「増田の内蔵」を宿泊学習のプログラムの一つとして見学し、調べたことを掲示物としてまとめたり、スライドでクイズを作成して他学年の生徒や保護者、他校の生徒に発表したりした。2回目では、1回目の学習の中で生じた疑問や自分たちの暮らしとの違いについて、「歴史」「建物」「生活」に分けて、さらに調べたり比較したりする。それらを掲示物としてまとめたり、映像資料を作成して発信したりすることで、得た情報の整理の

仕方を知ったり、相手を意識した表現について検討したりしていく。

「増田の内蔵」は家の中にある蔵であり、実際に中に立ち入って見ることが少ないため、想像を膨らませたり、興味をかき立てられやすかったりする。また、特別な役割をもって使われていたため、生徒たち自身が住んでいる家や生活の様式と比較がしやすい。さらに、増田町観光協会会長や増田地域課の方から直接説明を受けながら疑問を解決することができ、地域の人の関わりをもつこともできる。合わせて、調べたことを友達と一緒に映像としてまとめることで、相談しながら要約したり、助言を受け入れたりするなど友達と関わりながら活動することもできる。

「増田の内蔵」を通して、自分たちの生活と比較しながら地域で暮らす楽しさや、自分たちの住む地域の特徴や魅力を十分に味わうとともに、相手を意識した表現について考えたり工夫したりすることができると考え、本単元を設定した。

(3) 指導観

自分たちの生活と比較しながら、情報の整理ができるように

- ・「増田の内蔵」について、建物の構造に関することやそこで暮らす人等、調べる項目をあらかじめ設定する。
- ・比較する対象が具体的にイメージすることができるように、自分たちで写真や動画を撮影する場面を設けたり、家庭や施設の協力を得て自分の家の作りや活用の仕方を確認する課題を提案したりする。

見る人に伝わりやすい表現か検討したり、他者の考えを受け入れたりするために

- ・映像作りにおいて意見交換しやすいように、2～3人のグループで活動したり、写真やイラストサンプルから選ぶ場面を設けたりする。
- ・何度でも表現方法を変えたり、追加訂正したりできるように、タブレット型端末を活用してまとめていく。
- ・友達や映像を見た人からのアドバイスを受け入れやすいように、交流を通して作った映像を紹介してくれている大曲支援学校中学部2年生から、映像作りの視点の提案を受け、意見を伝え合うようにする。また、あらかじめ自分たちで大曲支援学校が制作した映像のよかった点を話し合っておく。
- ・増田町観光協会会長、増田地域課の方に作った映像を見てもらい、相手に伝わりやすいか、調べたことに間違いがないかなどやりとりをしながら進めていく。

地域のよさを知り、愛着をもつために

- ・地域の特徴や魅力を深く知ることができるように、地域に詳しい人からの話を聞く機会を設け、以前学習した内容と比較したり、予想を立てたりしながら調べ学習を進めていく。
- ・調べた内容を掲示し、身近な人に知らせたり、他地域の生徒との交流を取り入れたりし、伝える楽しさを感じる経験を積み重ねていく。そして、地域への愛着をもつために、調べたことをたくさんの人に伝える場面として、YouTubeでの配信を提案する。
- ・「増田の内蔵」を直接見て比較することができるように校外学習を設定したり、分からないことを質問できるように観光協会や増田地域課の方とオンラインや手紙等でやりとりする機会を設けたりする。
- ・映像作りでは、調べたことを分かりやすく伝えるため、表現方法を検討しやすい「iMovie」アプリを活用し、自分たちで操作しながら作っていく。

4 指導計画（総時数 24 時間）

小単元名	時数	小単元の目標（ねらい）	学習活動 (ICTの活用)	評価の観点			評価規準	学びを実感し、主体的に 学ぶ姿を実現する工夫 (ICTの活用)
				知 技	思 考 表 現	態 度		
「増田の内蔵」ひ・み・つ もつと 発見！ (5)	1	・「増田の内蔵」について、調べ直したことや新しく知ったことを、友達と役割分担しながら整理する。	・校外学習で調べたメモを手掛かりに、項目（建物・歴史・生活）毎に役割分担してワークシートに書く。	○			・自分がまとめる項目が分かっている。 ・メモ書きを文章にして書き表している。	<p><単元を見通す工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・映像を作ってみたいという意欲を高めるために、大曲支援学校中学部2年生が作成した映像を提示する。 ・学習の流れが分かるように、学習計画表を教室の前に掲示しておく。 <p><学習の意味や意義を理解する工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のよさを実感したり、調べたことをまとめる楽しさを味わったりすることができるように、校外学習を取り入れ、自分たちで撮影したり、直接話を聞いたりする機会を設定する。
	1	・掲示物の作成において、見る人に伝わりやすい表現かを考えたり、工夫したりする。	・友達と役割分担しながら掲示物を作成する。	○	○		・文の構成や言葉の使い方を考えて書いている。	
	2	・大曲支援学校と交流をし、まとめたことを説明したり、クイズで伝えたりする。	・交流に向けて、説明や進行などの役割分担をしたり、クイズを作ったりする。		○		・自分の役割が分かっている。 ・文字の大きさなど見やすさを考えながらクイズスライドを作っている。	
			・大曲支援学校中学部2年生にGoogleスライドを使って紹介する。			○	○	
1	・「増田の内蔵」について、項目毎にまとめた友達の発表を聞き、分かったことや気付いたことを伝える。	・まとめた内容を発表し合い、共有する。		○	○	・新しく知ったこと、気付いたことを伝えている。		
「増田の内蔵」ち・が・い 発見！ (5)	2	・自分たちの住まいや暮らし方と比較し、違いを知る。	・「増田の内蔵」と自分たちの住まいの違いを項目（建物・歴史・生活）毎にまとめる。	○	○		・まとめたことから自分の暮らしと比べ、項目に合わせて書き表している。	<ul style="list-style-type: none"> ・要約したり、相手意見を取り入れたりなど、文章を書き直したり、言葉を選んだりすることが容易にできるよう、調べたことをまとめる手段としてタブレット型端末を活用する。また、調べたことをたくさんの人に知ってもらう手段として、映像作りをして発表したり、YouTubeで発信したりするなどICTを活用する。
			・増田町観光協会会長に質問したり、必要な写真や動画を撮影したり、する。（校外学習）		○		・適切な言葉遣いで質問したり、回答をメモしたりしている。 ・比較するために必要な写真や動画を撮影している。	
	2	・今の生活との違いから、気付いたことを伝え合い、表現する。	・暮らし方について家族等と話した内容をまとめる。		○	○	・家族等と話し合ったことでより自分の生活に関心をもっている。	
			・今の生活と比較した内容から気付いたことをグループの友達に話したり、掲示物にまとめたりする。			○		
1	・友達の発表を聞いて気付いたことを伝え合う。	・まとめたことを発表し合い、意見交換する。		○	○	・友達の発表を聞いて、自分の考えや感想を伝えている。		

「増田の内蔵」ひ・み・つ 発表！ (12)	1	・伝えたいことや必要な情報の選び方を知る。	・今までまとめた掲示物やワークシートから伝えたいことを選ぶ。		○		・伝えたいことや必要な情報を選んでる。	<p><ねらい、めあて、まとめ、振り返りの在り方の工夫></p> <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師や友達と一緒に取り組むことで解決できるねらいをせっている。 ・課題だけではなく、長所である人とやりとりする力を伸ばすねらいを設定する。 <p>【めあて・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や写真等から自分たちでめあてを決めるようにしたり、取り組む内容が分かるように課題を具体的に示したりする。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容が視覚的に分かるように電子黒板や制作した画像、映像などを提示する。 <p>【振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「か・ま・くら」カードを活用し、各視点で振り返る。 「か」：考えたこと 「ま」：学んだこと 「くら」：比べたこと <p>※別紙資料参照</p>	
					○		・事実と自分の考えの違いを考えて選んでいる。		
	1	・相手に伝わりやすい言葉の使い方や表現の仕方を考える。	・ <u>大曲支援学校中学部2年生の地域紹介映像から、映像作りで参考にしたい視点を見つける。</u>		○	○			・参考映像から取り入れたい視点(写真の数、映像の長さ、切り替わりの時間など)を見つけている。
		6	・映像作りにおいて、見やすい映像にするために自分の考えを伝えたり、友達の意見を受け入れたりする。	・絵コンテ作りをする。 ～素材の選択 ～テロップ作り ～ナレーション決め			○		
	・「iMovie」を使って映像を作る。 ・お互いに発表し合い意見交換する。(画面の見やすさ、ナレーションの話し方) ・映像を改善する。				○	○			・伝える内容を明確にしてテロップやナレーションを決めている。
					○	○			・タブレット型端末を使って、役割分担したことを表現している。
						○			・見やすさを考えた文字の大きさや色合いを決めている。
	3 (本時2/3)	・他者からの意見を参考に、見る人に伝わりやすい表現になるよう工夫して映像作りをする。	・「iMovie」を使って映像を作る。 ・お互いに発表し合い意見交換する。(写真やテロップの表示時間、ナレーションの聞きやすさ等) ・映像を改善する。			○			・説明に適した写真を挿入して画面を作っている。
			・「iMovie」を使って映像を作る。 ・お互いに発表し合い意見交換する。(写真やテロップの表示時間、ナレーションの聞きやすさ等) ・映像を改善する。			○	○		・見る人に伝わるような声の大きさやスピードで話している。
	1	・完成した映像を見合い、感想を伝え合う。	・グループごとに映像を発表し合う。			○	○		・友達と相談して映像作りをしている。
					○	○	・他者からの意見を聞いて分かったことを整理して映像を改善している。		
「増田の内蔵」ひ・み・つ 発信！ (2)	2	・調べたことを伝える楽しさを味わいながら、自分たちの住む地域のよさや大切さを伝え合う。	・ <u>大曲支援学校や観光協会会長にできた映像を見せ、映像の感想を聞いて、感じたことを発表し合う。</u>		○	○	・感想を聞いて自分の考えを発表している。		
			・ <u>YouTubeで、できた映像を発信する。</u>			○		・映像が配信されている様子を見て感想を伝えている。	
			・「増田の内蔵」と自分たちの暮らしについて振り返る。			○	○	・地域の中で生活するよさを知り、自ら地域の人と関わろうとする気持ちをもっている。	

5 本時の計画（本時：20/24 時間）

(1) 本時の目標

調べたことが伝わりやすい映像表現になっているか考え、友達に伝えたり、相談したりしながら「増田の内蔵」の映像を作る。 知 技 思判表

(2) 個別の目標（評価：A達成できた Bおおむね達成できた C努力を要する）

グループ	生徒名	本時の主たる目標（期待する具体的な学びの姿）	評価
「歴史」	D	・写真やテロップの表示時間など、チェックポイントを参考に改善点を決めたり、変更点を友達に伝えたりして映像を作る。	
	B	・友達からの依頼を受けながら、テロップを読んだり、必要な写真の表示時間やレイアウトを変更したりし、友達や教師と一緒に映像を作る。	
「建物」	F	・友達と相談したり、依頼を受けたりしながら、ナレーションを改善したり、写真の表示時間を変えたりして映像を作る。	
	G	・チェックポイントを参考に、自分の考えを伝えたり、伝わりやすさを考えて写真やナレーションを改善したりして映像作りをする。	
「生活」	A	・友達からの依頼を受けて写真やテロップの表示時間を変更したり、チェックポイントを参考にナレーションを入れたりして映像を作る。	
	C	・友達の映像のよいところを見つけて伝えたり、友達の意見を聞き入れたりしながら映像作りをする。	
	E	・チェックポイントを参考に改善点を見つけたり、自分の考えを友達に伝えたりするなど、相談しながら映像を作る。	

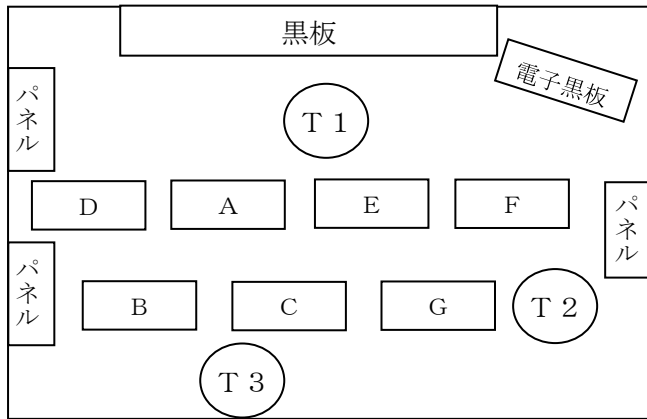
(3) 展開

分	学習活動（ICTを活用した活動）	指導上の留意点（ICTの活用に関する留意点）	準備物
5	<p>1 本時の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>動画を見る。</u> ・前時を振り返る。 <p>2 本時のめあてや課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックポイントを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈めあて〉</p> <p>調べたことが伝わるよう、考えを伝えたり、相談したりして映像を作ろう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈課題〉</p> <p>どんな考えを伝えたり、相談したりすると調べたことが伝わる映像になるかな？</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>増田町観光協会会長からのメッセージ動画を提示し、より伝わりやすい映像を作ろうとする気持ちを高める。</u> ・前回の学習でどんなことを学んだか、何が分かったか振り返るように、前時の「かまくらカード」を見直すよう伝えたり、問い掛けたりする。 ・追加したチェックポイントに気付くよう、画面やナレーションに関して、表現の工夫の仕方や改善できることについての言葉を引き出す。(T1) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>映像作りのチェックポイント</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>画面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>写真やテロップの表示時間</u> ・文字の大きさ、色、位置、テロップの長さ <p>ナレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の鮮明さ ・<u>聞きやすさ</u> ・<u>(途切れていないか、聞き取れるか)</u> ・口の開き方、スピード、声の大きさ <p style="text-align: center;">※下線が追加したチェックポイント</p> </div>	<p>掲物</p> <p>予表</p> <p>タブレット端末</p> <p>電子黒板</p> <p>チェックポイントカード</p>

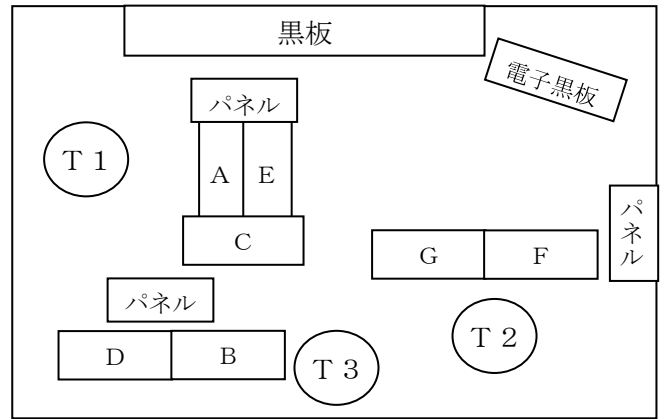
28	<p>3 <u>グループごとに映像を確認・改善する。</u> (第2場面)</p> <p>①グループで相談し、できる工夫や改善点を話し合う。</p> <p>②役割分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画面の修正 ・ナレーションの変更 等 <p>③分担をもとに映像の見直しをする。</p> <p>④グループで出来栄を確認する。</p> <p>歴史グループ：(D) (B) (T 3) 建物グループ：(F) (G) (T 2) 生活グループ：(A) (C) (E) (T 1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制作時に適宜確認したり、グループ内での意見交換をしたりしやすいように、手元に工夫できることや改善点を記入した「チェックポイント」カードを用意する。 ・各グループの制作した映像の絵コンテをプリントアウトして配付する。 ・分担した役割を終えたり、改善途中で迷ったりしたときは、友達と相談してみることを提案するなど、教師が仲立ちし、友達の意見を聞く時間を設けるよう伝える。(T 1) (T 2) (T 3) 自分の考えを伝えるのが難しい生徒の意見を復唱して伝えたり、選択肢から選ぶ場面を設けたりする。(T 1) (T 2) (T 3) 	<p>タブレット 型端末 チェックポイント カード 絵コンテ パネル</p>
10	<p>4 <u>グループごとに作った映像を発表する。</u></p> <p><u>発表の流れ</u></p> <p>①工夫したこと、映像作りで気をつけたポイントを伝える。</p> <p>②映像を流す。</p> <p>③感想や意見を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫したところやポイントを板書して、映像を見る視点が明確になるようにする。(T 1) ・自分から感想や意見を発表しやすいように、チェックポイント表を参考にするよう伝える。 ・映像を見た感想を発表する際は、なぜそう思ったか理由を話すことを伝える。(T 1) ・意見を出す際の手掛かりになるようにチェックシートを指さしたり、補足して伝えたりする。(T 2) (T 3) ・出された感想や意見から改善することが明確になるよう、自分のグループの絵コンテにメモを取るよう提案したり、板書に印を付けたりする。(T 1) 	<p>電子黒板 タブレット 型端末</p>
2	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p><u>〈まとめ〉</u> 写真やテロップの表示時間やナレーションの見直しについて話し合うことで、調べたことがより伝わりやすい映像になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・より伝わりやすい映像にするためにどんなことをしたかが分かるように、改善時に意識したチェックポイントを再度問い掛けたり、板書した改善点を繰り返し伝えたりする。(T 1) 	
5	<p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「かまくらカード」の「ま(学んだこと)」についてカードに記入し、発表する。 ・次時の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かまくらカード」を提示し、どんなことをしたら映像がよくなったかを「ま(学んだこと)」シートの定型文を参考に書くように話す。(T 1) 	<p>かまくら カード 電黒板</p>

(4) 配置図

導入時



活動時



(5) 評価規準

- ・見る人に伝わりやすい映像にするために、チェックポイントを手掛かりに、工夫できることや改善点に関して自分の意見を伝えることができたか。
- ・映像のレイアウトやナレーションを友達と相談しながら、工夫して映像を作ることができたか。

(資料)

ふりかえりキーワード かまくらカード



	<p>かんが 考えたこと</p>	<p>例：〇〇について ^{かんが} 考えて、△△と ^{おも} 思った。 〇〇について、^{こんど} 今度は◇◇してみたい。</p>
	<p>まな 学んだこと</p>	<p>例：〇〇について、◆◆と ^{わか} かった。 〇〇について、□□ができた。</p>
	<p>くら 比べたこと</p>	<p>例：^{ともだち} 友達の ^{いけん} 意見と ^{くら} 比べて、●●だと ^{おも} 思った。 ☆☆と ■■を ^{くら} べて、☆☆を ^{えら} 選んだ。</p>

※生徒のイラストをもとにした内蔵キャラクター
「くらりん」と「うちたろう」

